

適材適所



エチオピアで村落調査を行う中村さん(右から2人目)



コンサルタント

中村 祐美子さん
(41歳)
Nakamura Yumiko

Check

プロ意識とタレント性を発揮して

合同会社適材適所(適材適所LLC)は、2016年8月から第10期の会計年度に入る。その経営上の長は、①メンバー全員の経営への参画、②業務従事への意思尊重(業務命令なし)、③売上高連動の給与体系、④メンバーからの資金調達(銀行からの借入れはゼロ)、⑤純利益の完全再分配である。働き方にも特色があり、働く時間、場所、給与設定に至るまで個人の責任として各自の裁量に委ねられている。対象となる分野や課題、サービスの種類にも制限はなく、メンバーからの提案が歓迎されている。

同社が得意としてきたプロジェクト評価の業務が、ここ数年で縮小されつつあることから、各コンサルタントにとっては大きな転機を迎えている。キャリアカウンセラー(コンサルタント)の資格を持つ代表社員の立山桂司氏は「この転機は会社にとっても個人にとっても、国際開発の世界

で生きている原点と目標を、メンバー全員で共有しながら再点検する大きなチャンスでもある」と話す。適材適所のコンサルタントが、より高いプロフェッショナルの意識を持ち、オリジナルなタレント性を発揮して、自分にしかできないことだけをひたむきに取り組む姿勢に注目したい。



company data

合同会社 適材適所
Tekizaitekisho.LLC
〒102-0093
東京都千代田区平河町1-3-6 BIZMARKS麹町3F
設立:2007年8月
従業員数:14人(2016年07月現在)
代表者:立山桂司

recruitment

新卒採用:なし 中途採用:随時
募集職種:コンサルタント業務(多岐にわたる分野・課題)
募集人数:特に制限なし

TEL:03-6869-4124
E-mail:mailadm@tekizaitekisho.org
URL:http://www.tekizaitekisho.org/

Career Path

- Age 24 神戸学院大学大学院法学研究科修士課程修了、国際協力機構(JICA)ラオス事務所在外専門調整員
- 26 JICA企画調査員(ラオス法整備/企画・立案)
- 29 結婚して第一子出産
- 32 南太平洋大学大学院ガバナンス研究科修士課程修了、第二子出産
- 33 長崎大学熱帯医学研究所職員(JICA広域技術協力プロジェクト専門家)
- 36 第三子出産
- 41 適材適所LLC入社

これまで結婚や出産・育児などのプライベートなライフイベントとも向き合いながら、国際協力の歩みを進めてきました。これもすべて家族や多くの方々の支えがあっ

たからこそです。今後も周囲への感謝の気持ちを忘れず、現場の声と気持ちに寄り添いながら、価値のあるコンサルティングを実践していきたいと思っています。

「国際協力の実情を知るには、まず現場に立ち、人の声に耳を傾けること。米国留学中、全米模擬国連大会の準備に明け暮れていた頃、特別講師として来校した元コストリカ大統領のオスカル・アリアス氏からかけられた言葉です。この言葉に導かれるように、帰国後は大学院に進み、国際協力機構(JICA)ラオス事務所でインターンシップを経て、同事務所の在外専門調整員、すなわちエイド・ワーカーとして国際協力のキャリアをスタートさせました。その後、ラオス企画調査員(法整備)、大洋州広域技術協力プロジェクト専門家として、JICA A業務に従事してきました。

2010年にプロジェクトが終了し、生活基盤を海外から出身地である岩手県に移すことになり、国際協力へのかわり方を見直す転機が訪れました。それまでの現場経験を生かし、今度は現場の声を言葉にして、より多くの人に国際協力の実情を伝えていくことが自身の使命と感じるようになってきました。エイド・ワーカーから「評価者」への転身を決意し、現在は人材育成や組織・制度の強化が必要とされる公共政策、行財政、農業水資源、環境分野でのプロジェクト評価業務に従事しています。

数年前に組織のマネジメントと新しい価値創造に関心を持つようになった頃、当社の存在を知りました。今思えばそれが第二の転機でした。ここではメンバー全員が経営者であり、自分のことは自分で決め、やりたいことも自分で見付けて実践し、知識と経験をメンバーが共有する空間があります。こうした自由な空間での仲間との切磋琢磨から新しい価値が生まれ、真のプロフェッショナルを追求できるのではないかと、組織的に面白い取り組みが展開しているのではないかと直感的に思いました。

2016年6月、この会社での新しい職業人生が始まりました。

価値あるコンサルティングを実践